

社会学同アピール

全学連の旗の下、斗争執行部を確立し

6月ゼネスト・7月ASDACC粉砕

8月世界反帝斗争会议に向け前進せよ

全世界の学生、労働者、人民は、革命的な斗争を通して結合しつつある。

ウエトナム革命戦争—それに対する反革命戦争阻止を世界的結合とする。反戦斗争は、チェ・ゲバラの「更」に二つ三つのウエトナムを「」を突破口に、旧植民地諸国に於ける民族解放—社会主義斗争の攻取的な武装斗争、そして、自己帝国主義の内外戦略と中枢権力を打ち砕く斗争へと発展した。

そして今、ウエトナム解放民族戦線のテト攻撃とコールド・ラッシュ、ジョンソン声明を契機に、世界ははつかりと二つの戦換期の激効を示している。

ドイツは、18歳以上の徴用を含む非常時法が成立せられつつあり、これに対し、ドイツ社会学同を中心に阻止斗争が展開され、エッセンでは労働者のストが準備されている。

フランスの革命的労働者と学生は、セゴールと共産党の改良主義的妥協を粉砕しつつある。

フランスナショナリスとの全面対決、独、米、ヨーロッパアートとの結合、全人民の武装と工場暴動、向学組織のコミニューン型への発展、前進の方向はこうだ。アメリカでは、パリ和平会談—大統領選挙による帝国内政者の国民再統合に対し、SDSやラック・パワを中心に、国家権力に対する新たな反戦が準備されている。

ラテンアメリカは内乱が進行している。ボリビア、ウエネズエラ、グアテマラ等で革命战士が米帝のタリオン・ペレーや反革命軍と斗争している。

日本全学連と反戦青年委員会は、70年安保実力粉砕の本格的な斗争を開始しつつある。

6/7 斗争方針

成田ホリ阻止、沖縄の東南アジア侵略基地化阻止、ASDACC粉砕

6/7 首都防衛行総攻撃、京都五千名モ

6/15 全学連、反戦の連帯で、御堂筋実力突破

7/ 市大、E、L、シニアスト

6/28 全学連、ゼネスト

首都中央権力総攻撃、市大全学スト

7/4 ASDACC粉砕斗争

70年安保の基本問題、日帝の内外侵略と帝国主義軍隊確立の策動を阻止する斗争を基軸に、米、ウエトナム人民と連帯したウエトナム反革命戦争粉砕斗争を前びつけ、革命的な反戦斗争をまきおこすこと。

そして、この斗争を小さく、フランス、ドイツ等の反帝斗争の指針組織、アメリカのSDS、SNCC、ラテンアメリカ人民連帯理事会、ラテンアメリカ11ヶ国の全学連、等が東京に結集し、世界反帝斗争会议を行う。

この会议は、一、現時期のプロレタリア国際主義、帝国主義本位と旧植民地国の斗争の結合、二、現代スターリン主義の解体、平和対話斗争の批判、三、社会主義の批判、等について討議し、

ウエトナム反戦斗争を革命的な反戦斗争へ、プロレタリア国際主義の二国論を、

二つの確認のもとに、10月、世界反帝斗争統一行動ゼネスト、帝国主義権力総攻撃を提起する。

反戦、反帝斗争を斗争全世界人民の真紅の連帯を克ちとするために、全学連の旗の下に斗争執行部を確立せよ、6月斗争へ、安保斗争委員会を結成せよ

70年安保実力粉砕ノ市大を全学連の不屈の誓にノ